

櫓方門

平屋建ての「櫓方門」は、もともと城の北側に位置していました。この門は 1962 年、市内から加藤神社を城内に遷宮するための用地を確保するため、この場所に移築されました。2016 年の地震で損傷を受けましたが、今後修復される予定です。

門へと続く道は、直角のカーブを繰り返しています。これは、攻撃側の動きを鈍らせ、囲い込み、防御側に攻撃の機会を与えることを意図した仕掛けです。こうした城の設計は、米を計量するための木箱にちなんで「枡形」と呼ばれています。